

## 調査報告 蓮慶寺本堂と明専寺本堂の大工棟梁榎本清兵衛

平成 29 年 1 月 18 日  
株式会社 魚津建築設計事務所

- ①蓮慶寺：知多郡阿久比町、真宗大谷派、登録文化財。  
本堂：文化 8 年（1811）閏 2 月 22 日落成（棟札※1）「棟梁 横忝／清兵衛」。
- ②明専寺：安城市篠目（ささめ）町、真宗大谷派：弊社が下請で本堂と鐘楼を修復工事中。  
本堂：文政 3 年（1820）正月 18 日造立（棟札）「大工棟梁 尾陽住 榎本清兵衛忠道」。

※1.棟札（むなふだ）…建物を建築・修理した時に、その関係者（施主や職人）、建築年月日などを木製の板に墨で書いて、小屋裏に納めたもの。

両本堂とも棟札より、大工棟梁は蓮慶寺檀家である阿久比横松の「榎本清兵衛」である。平成 24 年に、弊社が下請で造営工事を行なった安城市の篠目八幡宮旧拝殿の天保 15 年（1844）の棟札においても、大工棟梁は「榎本清兵衛」であったが、そこには「榎本清兵衛昭友」と記載があった。それに対して明専寺本堂棟札（※P.2 参照）では「榎本清兵衛忠道」となっていることから、他の「横松大工」（※2）と同様に「榎本清兵衛」も代々襲名されていたものと思われる。上記以外にも「榎本清兵衛」の名は寛政 2 年（1790）の岡崎市下青野町の慈光寺山門（真宗大谷派）、寛政 9 年（1797）の安城市古井町の願力寺本堂（真宗大谷派）の棟札でも見られる。（参考：『安城の寺院建築』、平成 28 年）

※2.横松大工…文政 5 年（1822）の『尾張徇行記』によれば、横松村（現知多郡阿久比町横松）には 177 人の人口のうち、20 人の大工がいた。同村は良工を多く輩出し、近隣の半田だけでなく、三河にも仕事に出掛けており、その技術が高く評価されたことから、同村出身の大工を「横松大工」と呼ぶようになった。「横松大工」としては、岸幕（がんまく）家、江原家、山本家、榎本家、伊串家などが挙げられる。（参考：『阿久比町誌』）



- ※3.虹梁（こうりょう）… 寺社建築で用いられるやや弓形に反った梁。  
※4.絵様（えよう）… 梁などの部材の表面に彫ったり、描いたりされた模様。  
時代や職人の特色が反映される。
- 上記の比較写真のとおり、大工棟梁（榎本清兵衛）が同じであり、建立された時代も近い  
ため、全く同じ絵様が使われている。

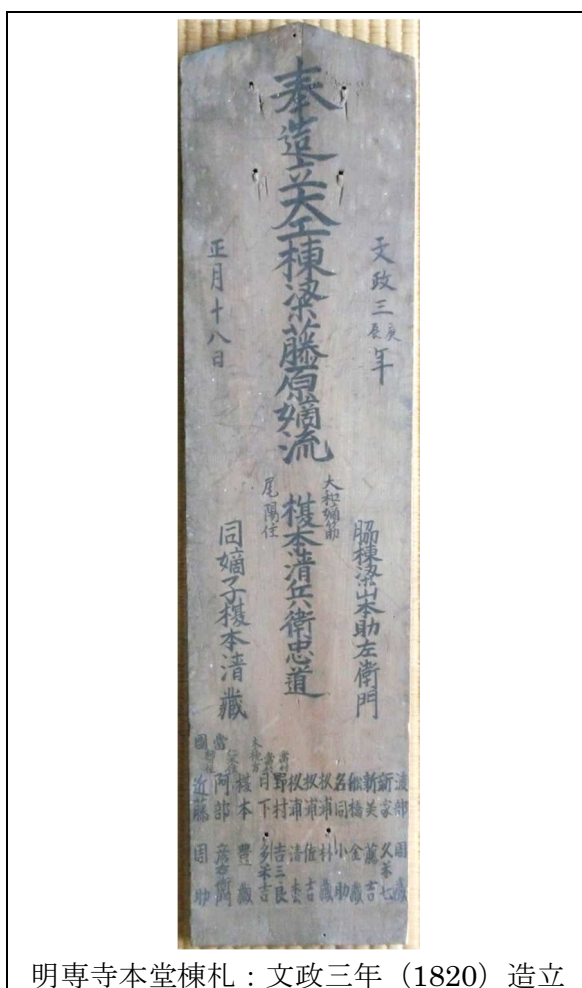
※参照：明専寺本堂（安城市篠目町、真宗大谷派）



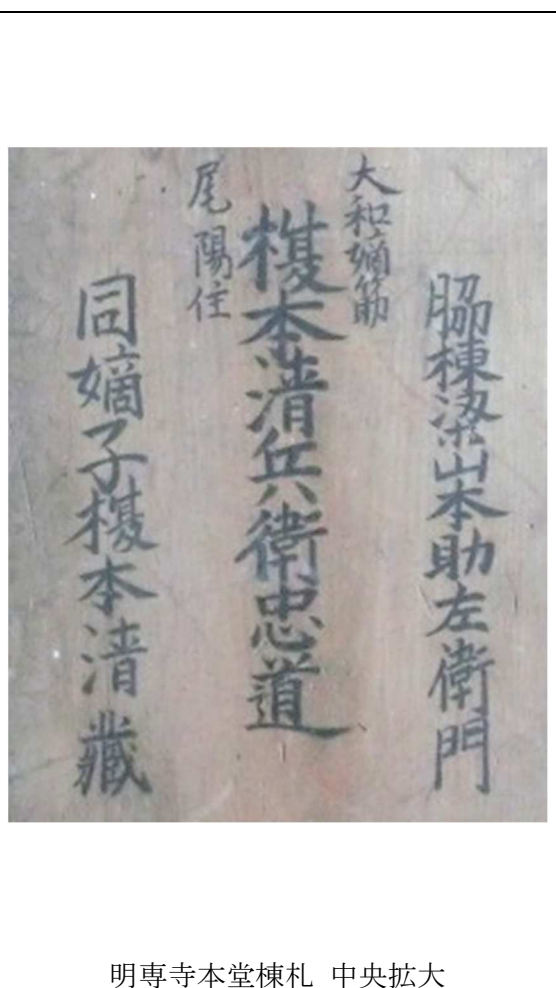
明専寺本堂 正面 修理前



明専寺本堂 内部 修理前



明専寺本堂棟札：文政三年（1820）造立



明専寺本堂棟札 中央拡大

明専寺本堂棟札の中央に見られる大工棟梁 榎本清兵衛忠道の左に書かれた嫡子榎本清藏（脇棟梁）が、後に榎本清兵衛を襲名し、天保 15 年（1844）の篠目八幡宮旧拝殿に見られる榎本清兵衛昭友を名乗ったものと思われる。

また、榎本清兵衛忠道の右手に記載された脇棟梁山本助左衛門は、蓮慶寺本堂棟札に記載がある「横恠／助左衛門」と同一人物である可能性が高い。